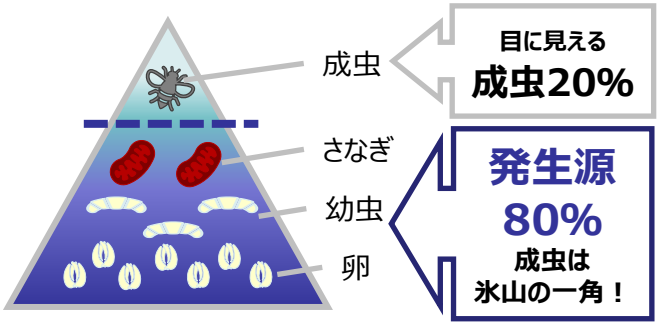
農林水産省
九州農政局

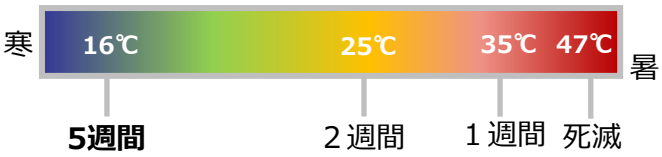
春先に向けたサシバエ対策で牛を病気・ストレスから守りましょう！

はて？冬季のサシバエ対策？春・秋よりサシバエ見ないけど・・・

成虫がいる＝幼虫はもっと潜んでいる



温度とサシバエが卵から成虫になるまでの発育日数の関係

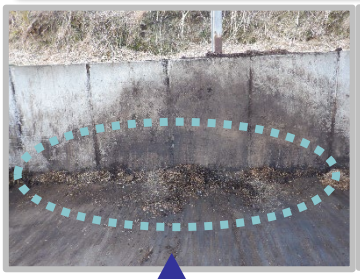


冬季は気温が低いので、発育速度が遅い！
幼虫対策をすれば、殺虫剤を撒く回数も減少！

九州の冬季サシバエ対策は、寒いうちから！

スタートが遅れると、ハエの数は爆発的に増加します・・・

1．幼虫対策は、堆肥等の管理とIGR剤の散布！



堆肥の切り返しは
隅々まで！



牛舎隅など牛が踏まない・糞の取り残しがある場所、
カーフペンなど子牛のいる牛床にIGR剤を散布！





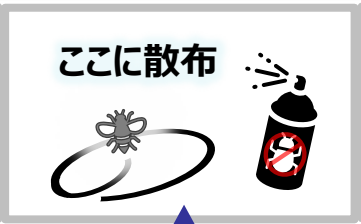
つなぎ牛舎は
バーンクリーナーへ散布！

2．成虫対策は、防虫ネットや殺虫剤ローテーションで！

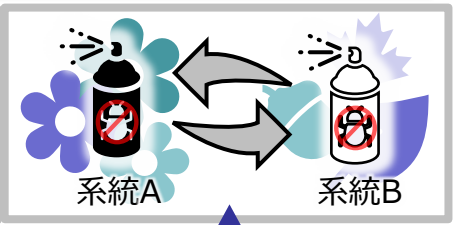




地面や床から２ｍは防虫ネットで
覆えるようにしましょう！
隙間や穴がないか確認を！



殺虫剤は
サシバエが飛ぶより
上を狙って噴霧！



殺虫剤はローテーションを！
噴霧量が十分か確認！

3．対策は地域ぐるみで！関係業者もご一緒に！

写真協力：鹿児島県内酪農家、（独）家畜改良センター宮崎牧場、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、エランコジャパン株式会社

裏面もチェック

サシバエ対策、ここをチェック！

農林水産省
九州農政局

1 堆肥・敷料・残餌はしっかり管理できている！

・切り返し等により堆肥発酵時の中心温度が65度になることを確認
・牛床は清潔に保たれ、汚れた敷料や残餌は片付いている

はい → すばらしい！

いいえ

IGR剤を撒き、幼虫対策をしている！

・バーンスクレーパーが通る前にバーンクリーナーに散布
・牛の踏まない所を中心に散布（特に牛舎隅など）

はい → その調子！

いいえ



子孫残セナイ…

サシバエ幼虫は、堆肥等の管理＋IGR剤で限りなく減らそう

サシバエの成虫１匹は、生涯600個もの卵を産む。**冬の成虫１匹は来シーズンの１万匹に相当すると言われるほど、冬季対策が重要**。サシバエの活動が低下している冬季だからこそ、地域ぐるみで幼虫対策をしましょう！

2 牛舎内で八エ成虫をほぼ見ない

はい → みんなのお手本！

いいえ



ココニハ 住メナイ〜

サシバエ成虫を、牛舎内で見かけたら、対策徹底！

サシバエは農場内でも発生するし、他所からも飛んだり運ばれたりしてやってくる。地域ぐるみでの対策が重要。サシバエの持ち出しや持ち込みがないよう農場出入り業者にも**車内の殺虫を**お願いしましょう。

サシバエ成虫対策 ３つのポイント

1．殺虫剤は ローテーション

同じ殺虫剤を連用していると、生き延びたサシバエが耐性を持つことがある。
殺虫剤が効きにくくなる前に、**系統が異なる殺虫剤とローテーションで回していこう**。
十分な濃度・噴霧量で散布しているかも要チェック。

2．防虫ネットの設置

地面から2mの高さまで床から天井に向けて設置。**穴が開いてないか**定期的にチェック。

3．下草刈りや防草シートの設置

サシバエが日中休息する**牛舎周辺の下草を刈ろう**。**防草シート設置も効果的**。

問合せ先：●●県●●家畜保健衛生所　XXX-XXX-XXXX